



UP DATE



■ 非開削技術研究発表会

11月11日(水), 第31回非開削技術研究発表会を東京都千代田区神田のエッサム神田2号館3階ホールにて実施しました。コロナ渦をふまえ, 参加者の募集を例年の3割におさえ, web参加との併用で94名が参加し10編の発表が行われました。

「調査・技術」, 「推進技術(応用)」, 「推進技術(事例)」の3セッションを午前, 午後に分けて実施。また例年実施しておりました意見交換会や, 記念講演などの関連イベントは中止としました。

本内容については, 本誌62ページと72ページの論文発表要旨をご参照ください。

■ 非開削技術見学会

11月17日(火), 埼玉県和光市で現場見学会を開催しました。開催にあたりボックス推進工法技術協会の協力を得て, 長距離S字曲線ボックス推進工法の施工現場を見学。募集定員20名に限定して開催しました。見学現場は, 和光市発注の雨水幹線整備工事です。見学詳細は本誌63ページで紹介しております

■ ISTT 総会への参加

11月16日(月), 日本時間23時より, ISTT 総会がWeb方式で開催され, JSTT から1名参加しました。当日は20か国の理事, 会員, 保証人が参加。ISTT 各国の活動状況の報告, および今後の活動計画, 理事の改選が行われました。ISTT 総会の詳細は, 本誌79ページにて紹介しております。

■ 委員会活動

(1) 技術委員会

第94回技術委員会を9月17日(木), 日本非開削技術協会隣会議室でWeb(Zoom)と併用で開催しました。

委員会では, 第31回非開削技術研究発表会について応募論文の審査を実施。応募件数10件について, 審議を行い応募全数の発表採用を決定しました。

また, 当日の座長選任を行い, 第1セッションは地下探査技術委員会斎藤委員長, 第2セッション吉本委

員, 第3セッション越石委員で, 座長を含め技術委員全員で発表審査を行うことを決定しました。

(2) 機関誌編集委員会

第10回編集委員会を10月8日(木), 日本非開削技術協会隣会議室でWeb(Zoom)と併用で開催しました。

委員会では, 第113号 発刊ならびに概要紹介ならびに, 第114号(本号)の準備状況について審議をおこないました。次回編集委員会は, 新型コロナウイルス感染拡大の第3波を想定し, 全員Web参加による開催が決定しました。

(3) 国際委員会

第4回国際委員会をWeb(Zoom)方式で開催しました。委員会では, 次回ISTT国際会議(マレーシアクアラルンプール)のWeb総会参加に向け, JSTTの投票内容を事前確認しました。また, ISTTよりGrant program 事業助成金募集について審議を行い, 台湾非開削技術協会と合同で応募することが可決されました。

(4) 地下探査委員会

①第37回地下探査委員会

第37回地下探査委員会を10月20日(火)10時からZoomを使用したWeb会議形式で開催しました。

前回委員会にて課題としておりました, 各ワーキンググループの活動計画案を報告, 本委員会にて審議, 活動計画案およびスケジュールについて承認されました。

(5) ソーシャルコスト検討委員会

第31回ソーシャルコスト委員会を10月16日(金)15時30分よりZoomを使用したWeb会議形式で開催しました。

委員会では, 現在の社会的費用算定手引きの改定に向け, 各担当の進捗状況確認。手引き改定にあたり改訂方針の確認, 文書の作成方針を決定しました。

(6) HDD(誘導式水平ドリル)工法委員会

JSTT会員のパーミヤアジアパシフィック社がHDD(誘導式水平ドリル)委員会に参加することになりました。これにより, HDD工法国内4社が整う形となり, 手引き改定に向け現在準備を進めております。